

(様式第4号)

上田市社会教育委員会 会議概要

1 審議会名	第9期第7回社会教育委員会
2 日時	令和6年10月3日 午後1時30分から午後3時50分まで
3 会場	市役所 2階 202・203会議室
4 出席者	宮下俊哉委員(代表)、山崎順子委員(代表代理)、清水洋幸委員、滝澤共子委員、西澤むめ子委員、小平千文委員、滝澤正幸委員
5 市側出席者	田中中央公民館長、上原生涯学習・文化財課長、小笠原青少年係長、横田生涯学習係長、荒井生涯学習係主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和6年10月31日

協議事項等

1 開会

2 あいさつ(宮下代表、上原生涯学習・文化財課長)

3 会議事項

(1) 上田市青少年善行表彰の審査等について

・資料に沿い、概要と審査方法、善行行為とそれに対する評価について説明。

(委員)「舞田子ども会」について、舞田駅はビュースポットになっており、周囲の景色と電車等写真撮影をする人も多い。近隣住民としてとてもありがたい活動で、表彰に値すると考える。

(委員)「神科小学校6年4組」について、とても大きなプロジェクトで様々な団体と小学生が関わっているということが素晴らしい。また、傾斜地の階段づくりなど、普段できないような経験もしながら学んでいるところも良い。

(委員)地域の様々な団体が関わっており、広がりが見られるような活動で素晴らしい。また、子ども達が主体的に意見を出し合っているところも素晴らしく、とても楽しそうな活動である。

(委員)「地域貢献し隊」について、携わっていただいているダンス教室は大変好評。地域の方は学生や若い方に力をいただき、多世代の方が関わる活動でとても良いと感じた。

(委員)探求の時間での取組ということで、若い方が様々なことを考え、つながりを持ち、探求している姿や考え方に感心させられた。

(委員)高校生の活動の素晴らしさとともに、表彰対象ではないが、まちなかキャンパスのように高校生の思いを地域の方や現場につなげていく人の活躍も素晴らしい。

(委員)「上田高等学校カンボジア井戸プロジェクト」について、何人ぐらいで活動をしているのか。

(事務局)正確な人数は把握していないが、十数人で1年から3年までの生徒が活動している。

(委員)カンボジアで井戸を掘るといのはどういったイメージか。自分たちで掘れば水が出るようなものなのか、もしくは機械を使って掘らなければいけないのか。

(事務局)高校生がスコップを持って現地で井戸を掘る活動ではなく、井戸を掘る資金集めをして資金提供し、作業依頼をしている。そのほか、井戸を送った先の人々と交流をしている。

(委員)この事業は、上田千曲高等学校から始まったものだったと思う。

(事務局)同じ活動をしている上田千曲高等学校ボランティア班は令和4年度に表彰されている。

(委員)井戸を掘る、現地に行くということだけで終わるのではなく、現地に行った後に地元の小中学生に現地の様子を伝えるというフィードバックをしているということが、さらなる発展につながるのではないかと感じた。

(委員)「上田西高等学校生徒会」「上田千曲高等学校生徒会」「上田高等学校生徒会」「上田染谷丘高等学校学友会」「上田東高等学校生徒会」の5校の活動について、1校だけではなく5校で連携してというところが大変良い。また当日も、高校生がとても大きな声で一生懸命やっており、そうした姿に感銘を受けことで、たった2時間で40万円近い募金が集まったのではないかと。本当に表彰に値する素晴らしい活動だと感じた。

(委員)5校が協力して行った活動ということで積極的に評価したい。また、今回の募金にとどまらず他の面でも連携した活動が広がっていったら良い。

(委員)上田市青少年善行表彰取扱要領が作成された経過やその後の遍歴を教えてください。

- (事務局) 平成 16 年度から青少年善行表彰が始まっており、その際に作成されたものと理解している。また、その後複数回見直しがあった様子だが、この場で詳細について回答ができないため、次回の会議等別の機会に回答させていただく。
- (委員) 上田市青少年善行表彰であれば、上田地域の特徴を生かす、良い歴史を引き継いでいけるような、そうした目的を入れていった方が良いのではないか。
- (事務局) 貴重な意見として賜りたい。一方、表彰の敷居を高くしてしまうとすれば難しいと考える。

(2) 社会教育施設の使用料改定について

- ・資料に沿い、市の基本方針と使用料改定について説明。

質問意見なし

(3) 第三次上田市生涯学習基本構想の策定について

- ・資料に沿い、第三次生涯学習基本構想策定について説明。

質問意見なし

(4) その他

- ・上小社教委連会報について、廃止を含め今後の在り方について検討。
存続、廃止の二者択一ではなく、社会教育委員の活動を知っていただくためにどのようにしていくかというところから考えていく必要があるのではないか。

6 その他

- ・第三次上田市総合計画策定に向けた分野別意見聴取について
- ・「令和 6 年度東信地区社会教育委員活動情報誌～かけはしとなりて～」の原稿依頼について
- ・視察研修について
- ・令和 6 年度長野県社会教育研究大会の報告
- ・配布した資料について
- ・次回日程について

7 閉 会